

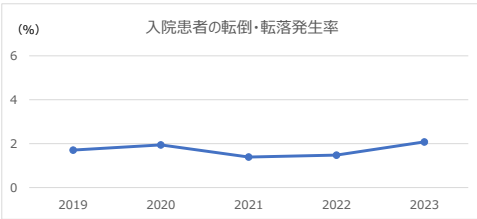
**【クリニカルインディケーター（臨床指標）】**

○入院患者の転倒・転落発生率

入院中に転倒または転落した患者の割合です。

当院ではベッドから転落したり、つまずいて転んだりしないように周囲の環境を整え、評価と対策を行っています。

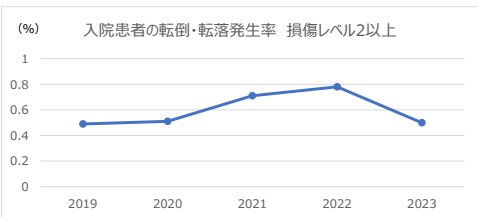
年度	2019	2020	2021	2022	2023
	1.71	1.94	1.39	1.48	2.08



損傷レベル	内容
損傷レベル1	なし
損傷レベル2	患者に損傷はなかった
損傷レベル3	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の拳上、局所薬が必要となった あざ・擦り傷を招いた
損傷レベル4	縫合、ステリー、皮膚接着剤、副子が必要となった または筋肉・関節の挫傷を招いた
損傷レベル5	手術、キース、牽引、骨折を招いた・必要となった または神経損傷・身体内部の損傷のための診察が必要となった
損傷レベル6	死亡
損傷レベル6	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
損傷レベル6	記録からは判定不可能

○入院患者の転倒・転落発生率 損傷レベル2以上

年度	2019	2020	2021	2022	2023
	0.49	0.51	0.71	0.78	0.5



○入院患者の転倒・転落発生率 損傷レベル4以上

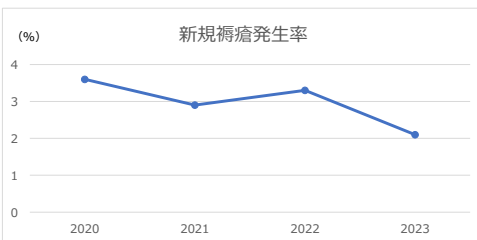
年度	2019	2020	2021	2022	2023
	該当事案なし				

○新規褥瘡発生率

褥瘡とは「床ずれ」とも言われ、寝たきりなどにより体重で圧迫されている部分の血流が悪くなることで皮膚が赤くなったり、傷ができてしまうことをいいます。

当院では入院中の褥瘡発生を防ぐため、用品の整備をし療養環境を整えています。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
	-	3.6	2.9	3.3	2.1



○身体拘束率

身体抑制は、制限の程度が強く、二次的な身体的障害を生じる可能性もあるため、代替方法が見出されるまでのやむを得ない処置として行われる行動制限であり、早期に他の方法に切り替えるよう努めなければならないものとされています。

当院では身体抑制低減に向けて取り組んでおり、抑制中であっても安全に配慮しながらできるだけ抑制しない対応を行っています。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
	-	27	29.4	28.1	25.9



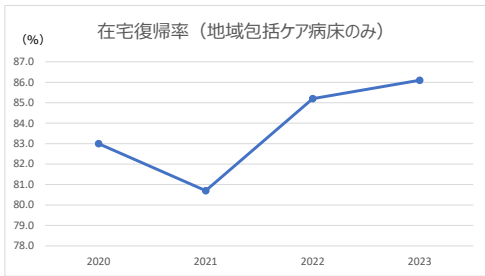
**【クリニカルインディケータ（臨床指標）】**

○在宅復帰率（地域包括ケア病床のみ）

在宅復帰率とは、退院した患者がどれだけ自宅またはそれに準じる施設に移ったかを表す指標です。地域包括ケアシステムの不可欠な構成要素である「在宅医療」の推進の度合いを測る指標であり、一定高さの水準が求められています。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
	-	83.0	80.7	85.2	86.1

単位：%

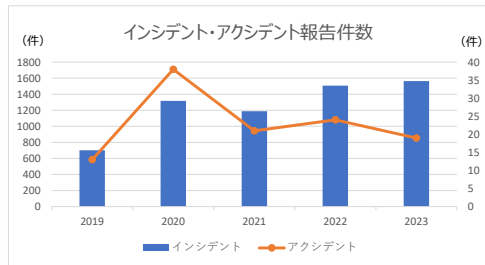


○インシデント・アクシデント報告件数

身体への侵襲を伴う医療行為は常にインシデント・アクシデントが発生する危険があります。インシデント・アクシデントが発生した場合、原因を調査し防止策をとるよう努めています。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
インシデント	702	1317	1189	1506	1564
アクシデント	13	38	21	24	19

単位：件



○インシデント・アクシデント報告件数において医師の占める割合

年度	2019	2020	2021	2022	2023
	0.42	0.3	0.33	0.39	0.13

単位：%

